

第120回横浜市景況・経営動向調査（令和4年3月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

自社業況BSIは、全産業でマイナス34.4と、前期より8.4ポイントの低下 先行きについては、来期、再来期ともに上昇する見通し

- 【調査のポイント】
- **今期（令和4年1-3月期）の自社業況BSI（※）は▲34.4**と、前期（▲26.0）と比べて**8.4ポイント低下**しました。
 - 業種別では、**製造業の今期のBSIは▲32.9**と、前期（▲27.2）より**5.7ポイント低下**しました。**非製造業の今期のBSIは▲35.3**と、前期（▲25.3）より**10.0ポイント低下**しました。
 - 規模別では、**大企業の今期のBSIは▲12.5**と、前期（▲12.8）より**0.3ポイント上昇**、**中堅企業の今期のBSIは▲29.8**と、前期（▲17.6）より**12.2ポイント低下**しました。**中小企業の今期のBSIは▲37.2**と、前期（▲28.8）より**8.4ポイント低下**、また**中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲44.0**と、前期（▲32.2）より**11.8ポイント低下**しました。
 - 先行きについては、**来期（令和4年4-6月期）の自社業況BSIは▲28.6**と、今期（▲34.4）より**5.8ポイント上昇**、**再来期（令和4年7-9月期）の自社業況BSIは▲20.0**と、来期（▲28.6）より、**8.6ポイント上昇**と、**来期以降は上昇する見通し**です。
 - 自社業況BSIを含む本調査による数値は、ロシアによるウクライナ侵攻（2月24日）以前の回答をまとめたものであり、その影響は反映していません。

【調査対象】 市内企業 1,000 社（回収数：609 社、回収率：60.9%）

【調査時期】 令和4年1月31日～3月20日（調査票回答期間及びヒアリング調査期間）

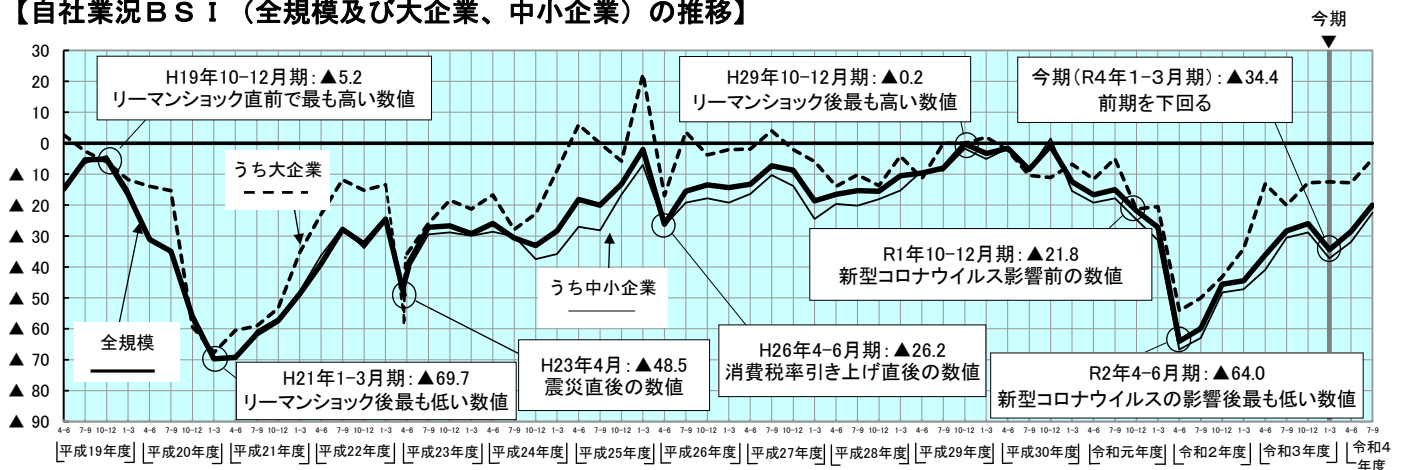
※調査票回答期間は令和4年1月31日～2月20日

※ BSI（Business Survey Index）：自社業況 BSI は、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断（自社業況 BSI：良い%-悪い%）

【自社業況 BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI(業種別・規模別)の推移】

		令和3年	令和3年	令和3年	令和4年		令和4年	令和4年
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
				(前期)	(今期)	今期-前期	(来期)	(再来期)
	全産業	▲36.1	▲28.4	▲26.0	▲34.4	▲8.4	▲28.6	▲20.0
業種	製造業	▲35.1	▲22.1	▲27.2	▲32.9	▲5.7	▲31.0	▲18.3
	非製造業	▲36.7	▲33.0	▲25.3	▲35.3	▲10.0	▲26.9	▲21.2
規模	大企業	▲13.1	▲20.0	▲12.8	▲12.5	0.3	▲12.8	▲5.2
	中堅企業	▲25.3	▲22.9	▲17.6	▲29.8	▲12.2	▲19.0	▲14.1
	中小企業	▲40.9	▲30.5	▲28.8	▲37.2	▲8.4	▲31.9	▲22.5
	うち小規模企業	▲44.3	▲39.0	▲32.2	▲44.0	▲11.8	▲36.7	▲28.8

（注）令和4年4-6月期及び令和4年7-9月期は見通し。

裏面あり

【業種別動向】(前期:令和3年10月~12月期、今期:令和4年1月~3月期、来期:令和4年4月~6月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	▲28.6 (▲25.0)	▲46.6 (▲46.1)	▲26.7 (▲23.1)	・原油高による海上輸送料金の高騰等で、原材料価格が高騰し利益が減少している。これから価格改定等があるので、幾分か商品への価格転嫁ができるが、ウクライナ侵襲の影響で、さらに原材料価格の高騰等の影響が出てくるかもしれない。(畜産・水産飼料等製造) ・新型コロナウイルスの影響により在宅勤務が増えたことや観光客が減少したことにより、今期売上はコロナ禍前に比べ2~3割減少している。今後は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、少し売上が戻る見通し。(食料品製造・販売)
鉄鋼・金属等	▲23.3 (▲23.8)	▲31.6 (▲32.1)	▲31.6 (▲32.1)	・原油高による輸送費の高騰などの影響により、原材料の値段が上がりがり利益減の要因になっている。海外のロックダウンが続く原材料が入ってこない状況でもある。今後の業績回復の見通しは立たない。(看板等製造) ・取引先自動車関連メーカーでの半導体入手難や新型コロナウイルス感染による生産停止を受け、自社での生産計画も不安定な状況。原材料価格の高騰により利益を圧迫している。(自動車部品製造)
一般機械	▲35.2 (▲39.6)	▲27.1 (▲27.9)	▲25.0 (▲27.9)	・自社開発製品を軸とした事業への再構築に積極的に取り組んでおり、商談数が増えている。海外企業との商談も成立した。今後、外需を中心に売上が拡大する見込み。(産業機械設計製造) ・前期は航空機関連部品事業が先行き不透明であったが、今期は徐々に受注が回復傾向にあり、来期は回復が見込まれる。(一般機械製造)
電機・精密等	▲2.4 (▲2.6)	▲31.7 (▲36.1)	▲22.0 (▲25.0)	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で取引先である鉄道事業者の収益が悪化していることから、当社の仕事も少なくなっている。そのため、売上も前年同期に比べ落ち込んでいる。(電機精密) ・仕入れ材料の高騰により利益が圧迫され、注文がきてても部品が揃わず出荷できない状況が続いている。(工業用ヒーター製造)
輸送用機械	▲37.5 (▲33.3)	▲11.1 (▲13.4)	▲22.2 (▲26.6)	・昨年から発注は入っていたが進められていなかった仕事が今年に入り開始できたため、今期の業績は良い。ただ、部品を発注しても納期が決まらないものも出てきており、4月以降の見通しが立たない。(搬送設備の設計・施工) ・船舶修繕業務の受注量が増え、鉄工関連業務も港での仕事が増えたため、今期は前期よりも売上が増加した。鉄の値が上がり、納期も長期化しているため、早めに発注するなど対策を取っている。(各種船舶・作業船の修理、工事施工)
建設業	▲15.5 (▲13.8)	▲16.0 (▲18.6)	▲20.0 (▲21.0)	・今期は前年同月に比べ受注が少なかったが、従業員が濃厚接触者で出勤できないことによる、人員不足のため仕事が進められなかった。売上は前年同月比約1割減。また、半導体の納期の遅れによりエレベーターの更新等の業務が遅れている。(配線・電気設備工事) ・住宅需要はあるが、建材の輸入コストが上がっているため、利益は厳しい状況。先行きについても読めない。(住宅建設)
運輸・倉庫業	▲35.5 (▲34.0)	▲44.4 (▲52.4)	▲22.7 (▲28.6)	・新型コロナウイルスの影響により、主要取引先である自動車部品製造企業の海外向け輸出が減少しており、その影響で港湾運送業務の業績も良くない。(港湾運送) ・コロナの影響による外出自粛やテレワークの普及が進み、通勤・通学定期券の売り上げが減少している。来期以降の業績については、少し回復する見通し。(鉄道等経営事業)
卸売業	▲12.9 (▲14.9)	▲28.6 (▲30.0)	▲34.5 (▲33.3)	・生花の国産量が少ない等の原因により、各市場との競争で量的に集荷が厳しくなっている。1月は品薄のため商品価格が上がり、2月はイベントがなく低調だった。例年通りの販売量には戻らない。(生花卸売) ・水産物の漁獲量の減少、海外需要の高まりと物流の停滞による仕入価格の上昇などにより、今期営業利益は前年同月比約6割減となった。(水産物卸売)
小売業	▲40.4 (▲50.0)	▲74.4 (▲87.0)	▲43.6 (▲60.9)	・今期は、まん延防止等重点措置により、直営店への客足が減少した。来期以降は、新型コロナウイルスのピークアウトが早いと予測されていることや、昨年の緊急事態宣言が発令されていた同時期と比較すると、状況は改善すると見込んでいる。(化粧品等製造・販売) ・今期は、半導体の不足や一部車種の販売中止を受けたことにより、経常利益は前年度比で約3割減となった。発注が堅調なこと、半導体供給問題の改善が見込まれるため、今後は持ち直してくると見込んでいる。(自動車販売)
飲食店・宿泊業	▲76.2 (▲66.7)	▲88.9 (▲90.9)	▲77.8 (▲72.7)	・12月は客足が多く、業績は良かったが、1月はまん延防止等重点措置により、客足が減少し、厳しい状況となった。長引くコロナ禍に対応するため、昨年料金見直し(値上げ)を行い、売上、利益を確保している。(飲食) ・12月は宿泊客が戻ってきて業績は回復基調にあったが、1月の感染拡大により、利用率が再び低下し、利用率2~3割のときもあった。宴会利用がないため、宴会場を展示会場として貸出し、スペースの有効活用することで収益につなげている。(宿泊)
不動産業	▲28.2 (▲40.0)	▲29.6 (▲40.0)	▲30.8 (▲42.9)	・新型コロナウイルスの影響で、都心部からの移転希望が増え物件需要は高まっているが、自社在庫物件がなくなると物件の仕入れが困難で需要に対応できず、売上・利益減がしばらく続く見込み。また、木材等の資材が高騰している。(不動産コンサルティング) ・年末から期末に向けての会議室予約が増えたが、新型コロナウイルスの影響でキャンセルが増えている。不動産賃貸も引き合いはあるが、少なからず退去もある。来期以降も新型コロナウイルスの感染状況に左右される。(不動産賃貸)
情報サービス業	▲5.0 (▲22.2)	▲22.9 (▲38.5)	▲12.1 (▲25.0)	・今期は、海外からの半導体の納品遅れにより、機器の製造が遅延していた。体験型イベントへのシステム提供業務が多いが、リアル開催の機運が回復するまで、イベント関連の売上回復の見通しが立たない。(システム開発) ・今期は新型コロナウイルスの影響により、対面での自社商品PR等の機会が減少し、思うように活動できなかったことが売上に悪影響を与えた。取引先から引き合いはあるが、人の確保ができず断らざるを得ないこともあった。今後営業体制を整えば売上は回復する見込み。(システム開発)
対事業所サービス業	▲19.3 (▲26.7)	▲22.2 (▲20.0)	▲15.4 (▲12.0)	・今期は、登録者の新型コロナウイルス感染や濃厚接触者となる者が多くあり、労働者派遣の需要に十分に答えられなかった。ワクチン接種が進むことで感染リスクが減り需要にも応えることができ、自社業績も回復に向かうと考えている。(人材派遣) 例年、今期は繁忙期だが、人員不足や工事部品の納期遅れにより、発注に対応できず売上も減少した。来期以降は部品が納品されることなどによって、発注に対応できる見通し。(給排水管改修、一般土木)
対個人サービス業	▲25.0 (▲33.3)	▲24.2 (▲21.8)	▲10.7 (▲13.1)	・前期は感染状況も落ち着いていたこと、屋外の施設であることから、多くの団体客が訪れ、売上は増加していた。今期は、まん延防止等重点措置の影響で客が減少し業績は悪くなっている。来期以降は新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、業績は回復してくると考えている。(レジャー施設) ・今期は、選手の新型コロナウイルス感染によるレースの中止、まん延防止等重点措置の影響で客が減少し、売上も前年同月比でみると減少している。三回目のワクチン接種が進むことで、客足が戻り、業績も良くなると考えている。(レジャー施設)

※BSI=自社業績「良い」%-自社業績「悪い」%

※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある、業種については、矢印を表記している。

※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲5.8	← 全規模のBSI値
(▲22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

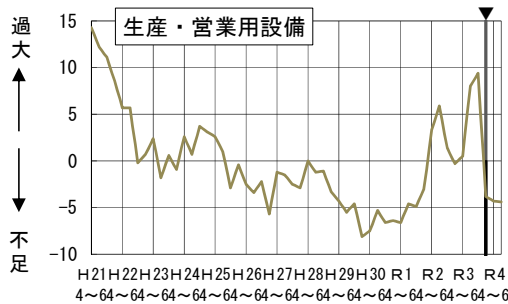
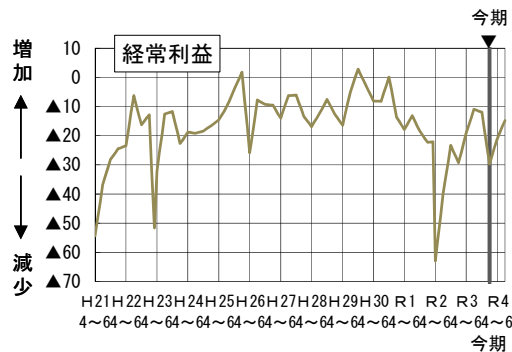
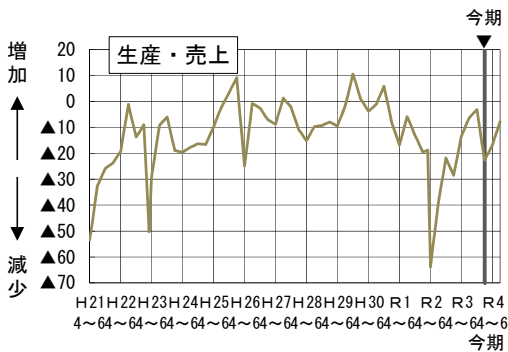
2 主要項目の推移

【主要項目(全産業)の推移】

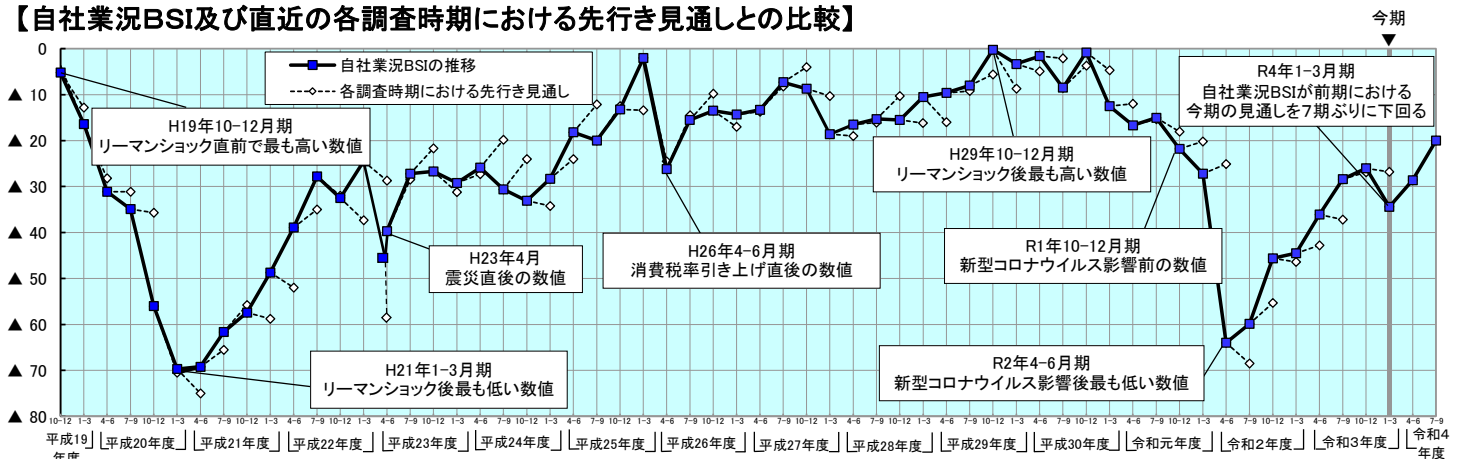
	令和3年 4-6月期	令和3年 7-9月期	令和3年 10-12月期 (前期)	令和4年 1-3月期 (今期)	今期-前期	令和4年 4-6月期 (来期)	令和4年 7-9月期 (再来期)
	自社業況	▲36.1	▲28.4	▲26.0	▲34.4	▲8.4	▲28.6
(1)生産・売上	▲13.4	▲6.3	▲3.2	▲22.7	▲19.5	▲16.8	▲7.8
(2)経常利益	▲19.0	▲11.0	▲11.9	▲29.7	▲17.8	▲21.1	▲14.8
(3)資金繰り	▲3.8	▲4.3	▲5.8	▲9.4	▲3.6	▲10.0	
(4)雇用人員	▲12.7	1.3	0.8	▲26.5	▲27.3	▲25.3	
(5)生産・営業用設備	0.5	8.0	9.4	▲3.8	▲13.2	▲4.3	▲4.4

(注) 令和4年4-6月期及び令和4年7-9月期は見通し。

(3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和4年7-9月期の見通しは調査対象外としている。



【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

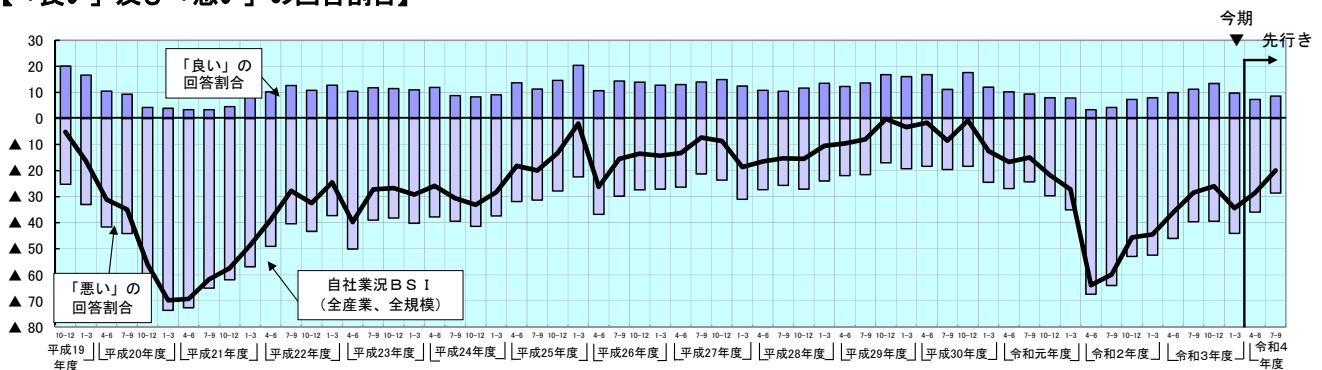
	令和3年	令和4年	1-3月期の回答の割合%	良い	普通	悪い	令和4年	令和4年	回答企業数
	10-12月期	1-3月期					今期-前期	4-6月期	
全産業	▲ 26.0	▲ 34.4	▲ 8.4	9.7	46.2	44.1	▲ 28.6	▲ 20.0	(※) 608
製造業	▲ 27.2	▲ 32.9	▲ 5.7	13.4	40.2	46.3	▲ 31.0	▲ 18.3	246
食料品等	▲ 28.6	▲ 46.6	▲ 18.0	6.7	40.0	53.3	▲ 26.7	13.4	15
繊維・衣服等	▲ 70.0	▲ 20.0	50.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0	20.0	5
印刷	▲ 52.9	▲ 73.3	▲ 20.4	6.7	13.3	80.0	▲ 57.1	▲ 61.5	15
石油・化学等	▲ 21.7	▲ 42.8	▲ 21.1	3.6	50.0	46.4	▲ 39.3	▲ 33.3	28
鉄鋼・金属等	▲ 23.3	▲ 31.6	▲ 8.3	12.3	43.9	43.9	▲ 31.6	▲ 22.8	57
一般機械	▲ 35.2	▲ 27.1	8.1	14.6	43.8	41.7	▲ 25.0	▲ 21.7	48
電機・精密等	▲ 2.4	▲ 31.7	▲ 29.3	12.2	43.9	43.9	▲ 22.0	7.4	41
輸送用機械	▲ 37.5	▲ 11.1	26.4	33.3	22.2	44.4	▲ 22.2	▲ 16.7	18
その他製造業	▲ 25.0	▲ 21.0	4.0	21.1	36.8	42.1	▲ 47.4	▲ 36.9	19
非製造業	▲ 25.3	▲ 35.3	▲ 10.0	7.2	50.3	42.5	▲ 26.9	▲ 21.2	362
建設業	▲ 15.5	▲ 16.0	▲ 0.5	12.0	60.0	28.0	▲ 20.0	▲ 20.0	50
運輸・倉庫業	▲ 35.5	▲ 44.4	▲ 8.9	9.3	37.0	53.7	▲ 22.7	▲ 20.8	54
卸売業	▲ 12.9	▲ 28.6	▲ 15.7	8.9	53.6	37.5	▲ 34.5	▲ 29.6	56
小売業	▲ 40.4	▲ 74.4	▲ 34.0	0.0	25.6	74.4	▲ 43.6	▲ 30.7	39
飲食店・宿泊業	▲ 76.2	▲ 88.9	▲ 12.7	0.0	11.1	88.9	▲ 77.8	▲ 61.1	18
不動産業	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 1.4	7.4	55.6	37.0	▲ 30.8	▲ 30.8	27
情報サービス業	▲ 5.0	▲ 22.9	▲ 17.9	5.7	65.7	28.6	▲ 12.1	▲ 11.8	35
対事業所サービス業	▲ 19.3	▲ 22.2	▲ 2.9	5.6	66.7	27.8	▲ 15.4	0.0	54
対個人サービス業	▲ 25.0	▲ 24.2	0.8	10.3	55.2	34.5	▲ 10.7	▲ 10.7	29

BSI (Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	令和3年	令和4年	1-3月期の回答の割合%	良い	普通	悪い	令和4年	令和4年	回答企業数
	10-12月期	1-3月期					今期-前期	4-6月期	
全産業	▲ 26.0	▲ 34.4	▲ 8.4	9.7	46.2	44.1	▲ 28.6	▲ 20.0	(※) 608
大企業	▲ 12.8	▲ 12.5	0.3	10.0	67.5	22.5	▲ 12.8	▲ 5.2	40
中堅企業	▲ 17.6	▲ 29.8	▲ 12.2	5.8	58.7	35.6	▲ 19.0	▲ 14.1	104
中小企業	▲ 28.8	▲ 37.2	▲ 8.4	10.6	41.6	47.8	▲ 31.9	▲ 22.5	464
うち小規模企業	▲ 32.2	▲ 44.0	▲ 11.8	9.3	37.3	53.3	▲ 36.7	▲ 28.8	150
製造業	▲ 27.2	▲ 32.9	▲ 5.7	13.4	40.2	46.3	▲ 31.0	▲ 18.3	246
大企業	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	12.5	8
中堅企業	▲ 33.3	▲ 11.1	22.2	22.2	44.4	33.3	0.0	12.5	9
中小企業	▲ 28.0	▲ 34.9	▲ 6.9	13.1	38.9	48.0	▲ 33.4	▲ 20.5	229
うち小規模企業	▲ 31.4	▲ 44.9	▲ 13.5	9.2	36.7	54.1	▲ 39.2	▲ 26.3	98
非製造業	▲ 25.3	▲ 35.3	▲ 10.0	7.2	50.3	42.5	▲ 26.9	▲ 21.2	362
大企業	▲ 16.6	▲ 15.6	1.0	9.4	65.6	25.0	▲ 16.1	▲ 9.7	32
中堅企業	▲ 16.2	▲ 31.6	▲ 15.4	4.2	60.0	35.8	▲ 20.9	▲ 16.5	95
中小企業	▲ 29.4	▲ 39.6	▲ 10.2	8.1	44.3	47.7	▲ 30.6	▲ 24.5	235
うち小規模企業	▲ 33.4	▲ 42.3	▲ 8.9	9.6	38.5	51.9	▲ 32.0	▲ 33.3	52

(※) 回収数 (609件) のうち、無回答数 (1件) を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyuu.html>

問合せ先		
経済局政策調整部企画調整課長	高橋 正海	Tel 045-671-2565
横浜商工会議所企画課長	牧畑 昌明	Tel 045-671-7433